

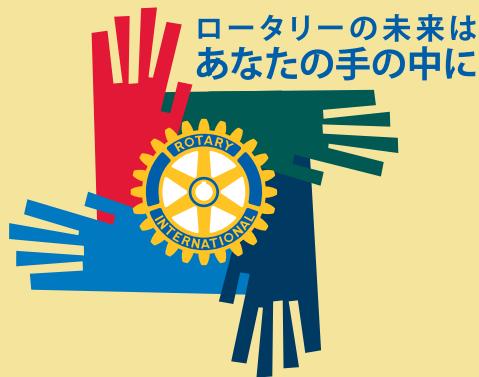


神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R.I.会長 ジョン・ケニー



2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

● 会 長 河 野 明 光	● 会長エレクト 横 山 範 夫
● 副 会 長 古川陽太郎	● 副 会 長 石 川 正 三
● 幹 事 事 山 田 正 憲	● 幹 事 飯 田 泰 之
● 会 計 朝 日 達 夫	● 会 計 田 口 健 太 郎
● S A A 月 山 勇	● S A A 伊 澤 政 宏
● 副 S A A 矢 野 修 二	● クラブ会報 森 永 健

●クラブテーマ「信頼」●



事務局	ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3 TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
例会日	毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場	ホテルキャメロットジャパン (創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日)
URL	http://www.kanagawahigashi.com/
E-mail	kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第2号週報 No. 1608 2009年(平成21年) 7月10日 第1608回例会記録 7月17日発行

司 会 飯田 泰之 副幹事

ビジター紹介 横浜旭RC 黒瀬 一敏君

点 鐘 河野 明光 会長

会長報告 河野 明光 会長

齊 唱 「我等の生業」

・本日、7月度定例理事会を開催致します。場所 3Fナイト

四つのテスト 伊東 英紀 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

幹事報告 山田 正憲 幹事

・第2回横浜東RAC例会の案内が来ておりますので回覧します。

日時 7月15日(水) 点鐘 19:30

場所 ホテルキャメロットジャパン

・たんまち福祉活動ホームより納涼祭の案内が来ておりますので回覧します。

日時 7月12日(日) 12時~15時

場所 たんまち福祉活動ホーム

・今年度の会報用ファイルを受付のテーブルに置いておきましたので、お持ち帰り下さい。

ゲスト紹介 神奈川RC 鈴木 亮二君
神奈川RC 島崎 友樹君



本日〈7月17日〉のプログラム

- ◆ 齊唱 「それこそロータリー」
 - ◆ 献立 海老と帆立の軽い煮込み
 - ◆ 卓話 「新年度挨拶」
- 出席、職分・会選、会報、親睦、雑誌、会員増強

* 横浜西ロータリークラブ

平成21年7月29日(水) 夜間例会
点鐘 18:00

* 新横浜ロータリークラブ

平成21年7月17日(金) 夜間例会
8月14日(金) 休会
8月29日(金) 職場訪問

* 横浜田園ロータリークラブ

平成21年8月11日(火) 休会
8月25日(火) 藤が丘バラ園手入れ 10:30~

* 横浜旭ロータリークラブ

平成21年7月29日(水) 休会
8月12日(水) 休会

委員会報告

雑誌委員会 委員長 竹山 洋

本年度「ロータリーの友」の表紙に掲載する写真の12月号と3月号がまだ決まっておりません。そこで、再度皆さまからの写真を募集しております。テーマは「祭り」で国内外は問いません。12月と3月の季節にあった祭りの写真をお持ちの方は是非8月31日までに提出して頂きたく、お願ひ致します。

詳しくは「ロータリーの友」7月号縦組み27ページ、28ページをご覧下さい。

また、9月号と5月号の表紙は、小池会員の写真が掲載決定しております。

会員増強委員会 委員長 脇田いすゞ

増強委員長を仰せつかりました脇田いすゞです。

近年の厳しい、又、目まぐるしい世の中で増強委員会の活動は大変な年だと思います。新入会員の予定はありますが新しい会員にはロータリーを良く理解して頂き、楽しいロータリーライフを過ごせる様働きかけなくてはと思います。

最初はなかなか自分からクラブに溶け込めないと思いますので会員皆さんで声を掛け、早い時期に歓迎会なども開ければと思います。また、ロータリークラブの運営も一つの案だと思っております。なるべくお金のかからない様なロータリーライフが過ごせれば若い人たちも入りやすいのでは、と考えています。

このような事が退会防止にも繋がって行けば良いと思います。

今年度は会員全員でこの委員会を盛り上げて行きたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願ひ致します。

クラブ会報委員会 委員長 森永 健

会長報告にもございました通り、本日お配りした週報が新体制で作成された第一号となります。扉写真は今回江森会員に用意して頂きました。委員長の私のスキル不足で、今後も写真の準備に難があることから小池会員にご協力お願ひしましたが、広く写真の募集を致しますのでご協力を願います。

また、本章の写真が暗く写っておりますのも次回より改善させて頂きます。その他ご指摘がありましたら、何なりとお申し付けくださいようお願ひ致します。

出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	62名	(50+12)名
出席会員数	50名	(44+6)名
出席率	89.29%	
ゲスト	2名	ビジター
前回補正後	84.75%	前々回補正後
		95.08%

スマイルボックス

伊澤 政宏 副SAA

鈴木亮二君（神奈川RC） 表敬訪問にお伺い致しました。一年間よろしくお願ひ申し上げます。

島崎友樹君（神奈川RC） 本日はお世話になります。河野会長様、山田幹事様、役員の皆様、ご就任おめでとうございます。

貴クラブの益々のご発展を祈念申し上げます。

河野明光君 神奈川RC 鈴木会長、及び島崎幹事ようこそお越し下さいました。本日の会報は記念すべき自クラブ制作の第1号です。

雨宮和則君 ①誕生日祝ありがとうございました。②友添さん、お世話になりました。

山本 登君 所用にて早退致します。ご容赦下さい。

山田正憲君 神奈川RC 鈴木会長、島崎幹事、ようこそいらっしゃいました。

山本芳弘君 お盆のシーズンとなりました。何かと多用で早退させて頂きます。

江森国一君 川邊会員の御尊父様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

脇田いすゞ君 神奈川RC の鈴木様、島崎様、ようこそいらっしゃいました。

友添辰哉君 雨宮先生お世話になりました。無事終わりました。

月山 勇君 先日は河野会長、江森さん、遅くまでお付き合いの程、ありがとうございました。

伊澤政宏君 川邊会員の御尊父様の御冥福をお祈り致します。通夜、告別式参加の皆様ご苦労様でした。

7月10日	12件	39,000円
本年度累計		168,000円

卓 話

「新年度挨拶」

◆職業奉仕委員会 委員長 伊東 英紀

本年度クラブ指標、ロータリー独特の職業奉仕への取組として、職業における高い道徳的水準を保つよう強い心構えを示すとあり、クラブのテーマ「信頼」のもと職業を通じ、ロータリアンとして深い信頼の絆で係わって行きたいと思います。

その意を受けて委員会として、下記の通り実施する予定でいます。

①四つのテストの唱和 毎月第一例会

②優良職場訪問実施(10月頃)

③クラブフォーラムの開催

④機会を捉え、会員の職業紹介、自己PRの場を設けたいと思います。



◆国際奉仕委員会 委員長 田中 龍太郎



◆社会奉仕委員会 委員長 高田 修

今年度R I 会長「ロータリーの未来は あなたの手の中に」のテーマのもと、本年度河野会長方針「信 賴」をロータリーの哲学であります超我の奉仕を当クラブの伝統とともに行動して行きたいと思います。

1. 神奈川区民まつり参加によるスリランカ井戸建設支援
2. 赤い羽根募金活動及び災害地支援
3. 年忘れ家族会チャリティーの実施
4. クラブフォーラムの実施
5. 地区補助金対象プロジェクト推進
6. その他 . . . もう一つの箱根駅伝への協賛

以上を地区協議会分科会での話を参考に実践して参りたいと思います。会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



今年度、国際奉仕委員長という大役を仰せつかりました田中でございます。副委員長には山崎会員、そして委員には岩澤会員、須永会員、矢野会員、横溝会員という布陣でございます。先週、7月3日(金)の例会終了後、前年度との引き継ぎ、及び新年度の顔合わせを行いました。この委員会は前年度より継続している事業が多く、また、他の委員会と共同で活動する案件も多くあります。関係各委員会方々、合わせて会員の皆様、一年間ご協力の程、宜しくお願い致します。

◆新世代育成委員会 委員長 長井 章



みなさまこんにちは。今年度、新世代育成委員長を仰せつかりました長井です。

今年度、河野会長のテーマは「信頼」 . . . 「信頼される〇〇」「信頼できる〇〇」

仲間、とか人間、リーダーであったり社会や政治であったり . . . そこには色々な言葉が当て嵌ります。

新しい時代を牽引してゆく、信頼できるリーダーの育成が目的の委員会を仰せつかり、改めて責任を感じておりますが、1年間宜しくお願い致します。

私には子供がおりませんので人を育てるということに関しては不慣れだと思っていますが、幸いにも当委員会のメンバーはPPを含む

ベテランの方々なので、都度相談の上活動し、私自身の勉強もさせて頂きたいと考えております。

また、国際奉仕、財団、米山の各委員会と連携を強化し、協力して行きたいと思います。

昨年までの事業は可能な限り継承し、出来れば新たな取り組みもして行きたいと思います。

皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

また、7月31日の夜間例会におきまして、アビーの送別会を行いますので皆様万障お繰り合わせの上、ご出席下さいます様お願い申し上げます。

◆環境委員会 委員長 渡邊 淳



河野会長のテーマである「信頼」の言葉を念頭におき、先輩方のご指導をいただき、1年間の委員会活動を行ってまいりたいと存じます。

昨年度新設された当委員会は、初年度、脇田委員長が「よこはま水と緑の日」への参加や、例会における「マイ箸」の実施など、具体的な目標を掲げ、それらをすべて見事に実現されました。

今年度は、「環境問題」を多角的に学習しながら、ロータリアンとして地域社会に対してどのような形で貢献できるのかを模索してまいりたいと考えます。

具体的には、「環境問題」について卓話、視察などを通して学ぶことと、関連行事などに参加して、体験型の学習も行うことができればと考えております。

いずれにいたしましても当クラブにおいてはまだまだ未開拓の分野でありますので、試行錯誤を重ね、当委員会の中長期ビジョンを模索してまいりたいと存じます。

クラブ会員の皆様にはどうか特段のご指導、ご協力そしてご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げまして、新年度のご挨拶と致します。

◆SAA 月山 勇

今年度、SAAを仰せつかりました月山でございます。

副SAAに伊澤会員、矢野会員と中堅会員3名で構成されました。例会時のSAAの役割は、如何に充実したクラブであるか問われ、ビジター、ゲストが来られた時の接待や雰囲気がそのままクラブの

評価に繋がる責任ある会場監督であると考えます。

会場の整備状況を点検し、例会がスムーズに運営されるよう常に配慮しなければなりません。

本年度、クラブテーマ「信頼」を元に信じて頼られる会員が心一つに信頼の絆が深まるよう例会運営に心掛けてまいります。

1. 例会

(イ) 席次表

毎月第1例会は、テーブルミーティング席次表に従い着席して頂きます。(毎回、同一のメンバーとでなく幅広く交流を得る為) ビジター席も特定の席を用意します。

(ロ) 禁煙

例会場はもとより、各会議に於いても全て禁煙と致します。但し、例会開始前には喫煙場所を設けます。

(ハ) スマイルボックス

クラブ奉仕会計の原資であり、奉仕活動の支えとなっております。メンバーの近況報告はもとよりあらゆる機会を通してスマイルへの御協力をお願いします。又、スマイル報告も会長からの提案でもあり若手メンバーに振る事(事前打診)も検討しております。(新しい会員の名前と顔を早く覚えてもらう事も含め)

※ 本年度、年間目標額は250万円とします。

(全会員の御協力を切にお願い申し上げます)

(二) 携帯電話と私語

例会中、携帯電話はマナーモードか電源をお切り願います。卓話を有意義なものとする為又、卓話者にも失礼となります。私語は慎むよう注意します。



2. テーブルミーティング

昨年度と同様3テーブルに分けて年3回、4ヶ月毎に開催して下さい。昼夜の開催は問いません。例会各種会議では話しにくい事などベテラン会員を交え活発なテーブルミーティングにして頂きたいと思います。(本来、本気で話し合える場所であり本質が見える事となります)

尚、毎回テーマを設けます。マスター、副マスターは簡単に取りまとめSAAまで提出して下さい。

3、記念品

(イ) 結婚祝

今年度は入会記念日祝ではなく、結婚記念日祝とさせて頂きます。単身者は入会記念日祝となります。記念品はH・キャメロットジャパン「日本料理・桂川」の食事券（2名様分）と致しました。

(ロ) 誕生祝

今年度はフラワーアレンジメントを例会場にて直接渡します。誕生祝記念日は必ず出席の程お願いします。

会長・幹事とも連絡を密にし例会、会議、理事会等 運営がスムーズにいくよう心掛けてまいります。本年度1年ご理解、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

ロータリー情報委員会より

R I 会長テーマを平塚七夕会場で発見！！

湘南の夏の風物詩“ひらつか七夕まつり”は7月2日～5日までの4日間、今年は中心街で500本、特にメイン会場の「湘南スターモール」には絢爛豪華な90本が飾されました。その中の1本に新年度R I 会長テーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」の書かれた竹飾りが、平塚ロータリーが出品したものでした。見つけた時嬉しかったですね～。（小池情報委員長記）



ロータリー新着ニュース

ポリオ撲滅の輝く模範となった2つの若き星

記事：Arnold R. Grahm

国際ロータリー・ニュース：2009年6月23日

世界からポリオをなくすために自分できることしたい。そう考えた2人の子供に、バーミンガム（英国）で開催されている2009年RI国際大会中、6月23日の第3回本会議で、何千人の出席者から大きな拍手が送られました。

ロータリー財団のジョナサン B. マジアベ管理委員長とともに壇上に上がったのは、ジョシュア・キム君（14歳、米国）とアナ・ザノッティさん（10歳、イタリア）です。「ロータリーを親身になって助けてくれた2人の少年と少女です」とマジアベ管理委員長は2人を紹介しました。

イタリアのマントバに住む小学5年生のアナさんは、母親でロータリアンのパトリジアさんから、ロータリーとその協力組織が、1988年から世界ポリオ撲滅推進活動を続けていることを聞きました。ポリオの感染者は世界で99パーセントも減少したが、未だにアフリカ、アジア、中東の子供たちがポリオの脅威にさらされており、撲滅するにはお金が必要、と母親から説明されたアナさんは、クラスの仲間たちと一緒に募金活動を行い、わずか2日間で、164米ドルを調達しました。

「お金を集めて、自分と同じような子供たちを何人助けられるかと考えました」学級プロジェクトとして募金のアイデアを思いついた時のことについて、アナさんはこう話しました。壇上では、募金箱代わりに使ったチョコレートの空き箱を手を持っていました。

一人の子供の予防接種にかかるコストが60セントであることから、アナさんたちは、募金で何人救えるかを考えました。「このチョコレートの箱に、たくさんの命が詰まっています」とアナさん。

アナさんの募金活動は、イタリア教育相のマリアステラ・ジェルミニ氏の耳にも届きました。これに共鳴した教育相は、ロータリーのポリオ撲滅活動を支援するとの声明を出しました。

「アナさんとご友人の皆さんが世界の大きな問題を理解し、自分たちよりも恵まれない子供たちを助けようと全力で頑張ってくれたことを、本当にうれしく思う。（中略）この目標に向けたロータリーの活動を支持し、達成のために今後もできる限りの支援を送っていきたい」とジェルミニ教育相は声明の中で述べています。

米国、イリノイ州ノースブルックのウッドオーラクス中学校に通う2年生のジョシュア君は、父親が会員となっているロータリー・クラブがポリオ撲滅のためのロータリー財団に1万ドルを寄付したことを聞いたとき、ポリオ撲滅活動への関心を抱きました。「ザ・ロータリアン」誌で「End Polio Now」ポリオ撲滅キャンペーンに関する記事を読んだジョシュア君は、7年間こつこつと貯めたお小遣いと近所の芝刈りで稼いだ貯金、1,200ドルすべてを寄付しました。

「お金を持つ人が自ら進み出て、恵まれない人を助けることがとても大切だと、ジョシュアは信じています」と父親のトニーさんは言います。「ロータリーはポリオの撲滅にあともう一歩のところまで近づいているから、自分も力になりたいと思った」とジョシュア君は話します。

「自分を犠牲にしてでもほかの子供たちを助けようとしたこれらの若者は、2つの輝く模範の星として、私たちに感動を与えてくれました」とマジアベ管理委員長は二人を称えました。

世界的な金融市場とそのロータリーへの影響に関するご報告

国際ロータリー・ニュース : 2009年6月3日

ロータリーの財務状況に関するメッセージをお送りした4月2日以来、財務状況に緩やかな改善が見られたことをここに謹んでご報告いたします。3月と4月に、国際ロータリーとロータリー財団の両組織で好ましい投資結果が見られ、本会計年度において初めて2ヶ月連続での投資の伸びが見られました。この結果、2月の時点で2,600万ドルだったRIの投資損失は4月30日現在で1,800万ドルにまで減少し、また、財団の投資損失は2億2,200万ドルから1億8,700万ドルに減少しました。今までの損失の大半は、含み損（未実現損失）であり、市場が回復すれば状況は好転すると思われます。

クラブ会費からの収入は予算を若干上回っており、財団への寄付総額は昨年と同レベルを保っています。しかし、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」を受けて寄付が年次プログラム基金からボリオ・プラスに充てられるという大きな転換があったため、財団の運営資金が減少する結果となりました。このため、近い将来、財団の運営費に充てるために投資債権の一部を売却していくことになります。前回のメッセージでお伝えしたように、地区財団活動資金（DDF）は現在も確保されています。また、RIと財団の運営費はほとんどの分野で予算を下回る好ましい状況を維持しており、この状況は本会計年度末まで持続すると見込まれています。

4月にRI財務委員会は、支出の厳重な抑制と均衡が組み込まれた2009-10年度のRIの運営予算提案書を徹底的に検討しました。同委員会は、6月のRI理事会会合でこの予算を承認するよう、理事会に推奨しました。RIの一般余剰資金については、2009-10年度を通じ、RI細則が掲げる85パーセントの水準以上を維持するものと現時点で見込まれています。

また、ロータリー財団管理委員会は、4月に2009-10会計年度の運営緊縮予算を承認しました。この概要については、ジョナサン・マジアベ・ロータリー財団管理委員長からのメッセージをご覧ください。

20年以上にわたり、財団は、年次プログラム基金の投資収益に

よって運営されました。これによって、管理委員会がロータリアンからの寄付の全額を人道的・教育的・文化的プログラムとプログラムの運営に充てることが可能となっていました。また、この期間、財団管理委員会は約1億ドルにも及ぶ投資収益を、ポリオ・プラスや子供たちのための機会補助金をはじめ、その他の人道的プログラムに費やしてきました。しかしながら、現在の財務状況により、今後数年間は、これまでのような方法で財団の運営資金を確保することができなくなる可能性が出てきました。これを受けて、管理委員会の要請により、ジョナサン・マジアベ管理委員長は、財団の予備金を元の状態に回復させるために、公正かつ効果的な複数年計画を立てることを目的とした特別委員会を任命しました。さらに現在、財団の投資諮問委員会が、ロータリアンからのご寄付の価値を守り、プログラム経費と運営費を賄うに十分な流動資産が維持できるよう、年次プログラム基金の投資方針の見直しを行っています。

私たちの財団は、過去数十年にわたり大きな飛躍を遂げました。私たちのプログラムが発展してきたのも、皆さまからの財政的支援のおかげです。ご寄付をされたことのない方は、どうか年次プログラム基金へのご寄付にご協力ををお願いいたします（ご寄付は6月30日までにお願いいたします）。皆さまからのご寄付は、金額に関係なく、すべてこの上なく貴重なものです。ご支援があってこそ、ロータリー・クラブが存在する世界33,000の地域社会に違いをもたらしていくのです。

エド・フタ (布田)

(R I ホームページより掲載)

次回《7月24日》の卓話予定

新年度挨拶 プログラム、広報・IT、R情報、R財団 米山

6月度出席報告